

財務実績

「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」という私たちの約束を指針として成長戦略を実行したことにより、2021年度において売上収益の成長、競争力のある利益率、力強いキャッシュ・フローの創出を実現しました。私たちが行った意思決定と投資により、タケダは2022年度およびそれ以降の中長期にわたり継続して売上収益の成長が実現できる体制を構築しています。



2021年度 財務実績

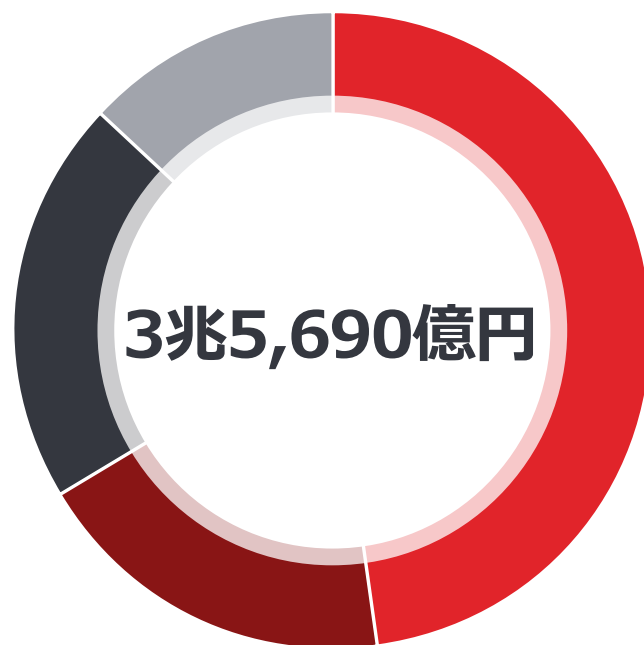
COVID-19の拡大や世界的なサプライチェーンの混乱が続く中においても、タケダは2021年度に好調な業績を達成しました。安定した製品ポートフォリオの成長、患者さんのための絶え間ないサイエンスの推進、ステークホルダーの皆さまのための持続可能な価値創出の成果を示すものです。当社の5つの主要ビジネス領域は、2021年度の売上収益の約86%を占め、ポートフォリオ全体にわたるその強みにより実質的な売上収益成長率¹+7.4%を達成することができました。

2021年度 売上収益

2021年度の売上収益 3兆5,690億円

2021年度の売上収益 約294億米ドル

● 米国	48%
● 日本	18%
● 欧州およびカナダ	21%
● 新興国	13%



5つの主要ビジネス領域

(2021年度の実質的な売上収益に占める割合^{1, 2})

消化器系疾患	25%
希少疾患	18%
血漿分画製剤（免疫疾患）	15%
オンコロジー	14%
ニューロサイエンス（神経精神疾患）	14%
その他	14%

¹当社は、国際会計基準（IFRS）に基づく経営実績評価を補完するために、IFRSに準拠しない財務指標を一部使用しています。IFRSに準拠しない財務指標の定義、説明、調整表については、Appendixをご参照ください。

²Core売上収益は、日本の糖尿病ポートフォリオ売却による1,330億円およびその他の非中核資産の譲渡による収入を控除したものの。



業績

(億円)	3月31日を期末とする会計年度				前年度比
	2020年度	2021年度			
売上収益	31,978	35,690	3,712		11.6%
営業利益	5,093	4,608	-484		-9.5%
税引前当期利益	3,662	3,026	-637		-17.4%
当期利益	3,762	2,302	-1,460		-38.8%
当期利益（親会社の所有者持分）	3,760	2,301	-1,459		-38.8%

国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標¹

業績

(億円)	3月31日を期末とする会計年度				前年度比
	2020年度	2021年度			
Core売上収益	31,978	34,205	2,227		7.0%
実質ベース：					
売上収益成長率	2.2%	7.4%			
Core営業利益率	30.2%	28.0%			
Core 営業利益	9,679	9,552	-127		-1.3%
Core EPS（円）	420	425	5		1.2%
フリー・キャッシュ・フロー	12,378	9,437	-2,942		-23.8%

レバレッジ

(億円)	2021年3月31日	2022年3月31日
純有利子負債	-34,294	-32,338
調整後EBITDA（過去12カ月）	10,835	11,680
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	3.2x	2.8x

¹ 当社は、国際会計基準（IFRS）に基づく経営実績評価を補完するために、IFRSに準拠しない財務指標を一部使用しています。IFRSに準拠しない財務指標の定義、説明、調整表については、Appendixをご参照ください。

成長製品・新製品

2021年度の売上収益成長は主に成長製品・新製品が牽引し、これらはCore売上収益の1/3以上を占め、実質的な売上収益成長率¹は+19%となりました。

ビジネス領域	成長製品	適応症	売上収益 (億円)	実質的な 売上収益成長率 ¹
消化器系疾患	 vedolizumab	中等症から重症の潰瘍性大腸炎・クローン病	5,218	14.5%
		難治性のクローン病に伴う複雑痔瘻	18	121.7%
希少疾患	 (lanadelumab-flyo) injection	遺伝性血管性浮腫（HAE）の発作の予防	1,032	12.4%
	 (maribavir) tablets 200mg	移植後の難治性/治療抵抗性（無しも含む）サイトメガロウイルス感染（症）	13	—
血漿分画製剤 (免疫疾患)	 Human Normal Immunoglobulin (10%) Recombinant Human Hyaluronidase	原発性免疫不全症（PID）、続発性免疫不全症（SID）、多巣性運動ニューロパチー症（MMN）	3,859	9.4%
	 (Immune Globulin Subcutaneous (Human)) 20%			
	 (Human Albumin)	血液量減少症、低アルブミン血症、心肺バイパス手術時の使用、新生児溶血性疾患	900	42.3%
オンコロジー	 BRIGATINIB 800 mg tablets	ALK陽性の非小細胞肺癌（NSCLC）	136	46.9%
	 mobocertinib 40 mg capsules	EGFR エクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌（セカンドライン以降）	10	—
その他	スパイクボックス™ 筋注	新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）の予防（初回および追加接種）	非開示	非開示
	ヌバキソビッド® 筋注	新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）の予防（初回および追加接種）	—	—

2021年度に米国において承認された新製品であるEXKIVITY®とLIVTENCITY®、また日本におけるスパイクボックス筋注™の追加接種分の供給および2022年4月に承認されたヌバキソビッド筋注®の上市を含めた新型コロナウイルスワクチンもさらなる成長の追い風になると予想しています。

¹当社は、国際会計基準（IFRS）に基づく経営実績評価を補完するために、IFRSに準拠しない財務指標を一部使用しています。IFRSに準拠しない財務指標の定義、説明、調整方法については、Appendixをご参照ください。

中長期的な成長に向けた取り組み

当社は、中長期にわたり売上収益の成長を実現するための体制を整えています。

成長製品・新製品は、継続的な市場浸透、地理的拡大、患者さんのアクセス改善やライフサイクルマネジメントを通じて、引き続き売上収益の成長を牽引していく見通しです。

さらに研究開発の変革により、10億米ドル以上の売上収益を上げる可能性のある複数の候補物質を含め、臨床段階にある約40の新規候補物質からなる革新的かつ層の厚いパイプラインを構築しました。今後も、引き続き当社の研究開発の能力や重点疾患領域内での外部企業とのパートナーシップや事業開発を通じて、積極的にパイプラインを強化していきます。

売上収益の成長に加え、引き続き競争力のあるCore 営業利益率を実現することに注力します。また、優れた利益率により十分なキャッシュ・フローを創出し、2023年度末までに目標である純有利子負債/調整後EBITDA倍率を2倍台前半に改善させるため、有利子負債を削減していきます。

10

当社の臨床プログラムのうち10のプログラムが臨床第3相またはピボタル試験段階にあり、ピーク時の売上高ポテンシャルの総額は100億米ドル以上となる可能性があります。²

¹当社は、国際会計基準（IFRS）に基づく経営実績評価を補完するために、IFRSに準拠しない財務指標を一部使用しています。IFRSに準拠しない財務指標の定義、説明、調整表については、Appendix をご参照ください。

²技術的および規制上の成功確率を調整したベースで50億ドル以上。

2022年度予想

2022年度予想		3月31日を期末とする会計年度		
(億円)	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	前年度比	
財務ベース:				
売上収益	35,690	36,900	1,210	3.4%
研究開発費	-5,261	-5,700	-439	-8.3%
営業利益	4,608	5,200	592	12.8%
税引前当期利益	3,026	4,110	1,084	35.8%
当期利益（親会社の所有者持分）	2,301	2,920	619	26.9%
EPS (円)	147	188	41	27.9%

国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標¹

Core 営業収益	34,205	36,900	2,695	7.9%
Core 営業利率	9,552	11,000	1,448	15.2%
Core EPS (円)	425	484	60	14.0%
フリー・キャッシュ・フロー	9,437	6,000-7,000		
一株当たり配当 (円)	180	180	—	—

マネジメントガイダンス

	CORE成長率（CER ³ ベース）
CORE 売上収益	一桁台前半の成長率
CORE 営業利益	一桁台後半の成長率
CORE EPS (円)	一桁台後半の成長率

2022年度業績予想およびマネジメントガイダンスの詳細については、2022年5月11日に公表した「2022年3月期決算短信（IFRS、連結）」をご参照ください。

³CER (Constant Exchange Rate 恒常為替レート) は、当年度の一定期間の経営成績について、前年度の同期間に適用した為替レートをを用いて換算することにより、為替への影響を控除したものです。